

今月のコンテンツ

- 業務執行理事新任ご挨拶
- 専門医認定試験について
- 社会医学系の人材育成について
(日本公衆衛生学会シンポジウムの予告編)
- 学術総会のご案内
- 専門医・指導医の資格更新のご案内
- 事務局からのお知らせ

業務執行理事新任ご挨拶



社会医学系専門医協会業務執行理事
和田 裕雄

このたび、本協会の業務執行理事に就任いたしました。

私は1993年に東京大学を卒業後、主として呼吸器内科学領域に従事するとともに、2014年からは順天堂大学大学院医学研究科・公衆衛生学講座・准教授に就任し、公衆衛生学と内科系臨床医学との関連に注視しながら研究、教育、診療を行ってまいりました。

近年、社会医学領域は、医学領域の専門家だけでなく、社会一般の方々を含め、多くの関心を集めています。国内では、新型コロナウイルス感染症の流行を受け、「公衆衛生学」という語が新聞紙面で普通に使用されるようになりました。さらに海外では、米国内科学会 (American College of Physicians) がWEBサイトでPublic Healthの重要性を強調するなど、社会医学と臨床医学との両立が求められています (<https://www.acponline.org/>)。

2016年の社会医学系専門医協会発足から約4年、社会医学領域は転換期を迎えているのではないのでしょうか。

私は、本協会での活動を通じ、社会医学領域の重要性や社会医学系専門医制度を周知するとともに、臨床医学系の領域との連携、人材発掘や教育に貢献できるよう尽力していく所存です。今後ともどうぞよろしく願いいたします。

専門医認定試験について

専門医・指導医認定委員会 委員長 前田 光哉（神奈川県）
 試験分科会長 大神 明（産業医科大学）

本年は、5月30日の第3回試験分科会にて、協議の結果、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の最前線で働く社会医学系専門医の試験では、感染拡大のリスクを可能な限り低く抑えるべきであることを鑑み、遠方からの移動を伴う東京での開催は適当でなく、また、社会医学系専門医を中止または延期することは必ずしも得策ではないと判断し、

- 1) 今年度の試験は遠隔試験にて開催することとする。（次回以降の継続実施も同時に検討する）
- 2) 試験は当初の予定通り9月13日（日）に開催する。
- 3) 試験内容は変更なく、筆記試験、面接試験、グループワークの3項目にて行う。

ということを基本案として実施しました。

受験者は69名でした。受験者の内訳（主分野と主たる所属）は表1のとおりです。受験者全員に対して、web方式により筆記試験、面接試験、グループワークを実施しました。結果は、合格67名、不合格2名となりました。

表1 受験者の内訳：主分野と主たる所属

主分野	行政	職域	教育研究機関	医療機関	計
行政・地域	19		3	1	23
産業・環境		24	4	4	32
医療	1		10	3	14
計	20	24	17	8	69

（1）筆記試験受験までの流れ

受験者に受験票と受験要領を送付し、インターネットの接続環境と、機器スペックを確認しました。7月23日の試験部会で試験問題をブラッシュアップし、事前に委託業者に渡し業者のIBT試験エンジンに格納しました。

試験接続確認テストを試験前日までに日時または期間を定めて実施しました。研究倫理eラーニングのテストのようなものを、試験開始直前にアクセスできるようにして、同時に開始するイメージです。

（2）試験当日の筆記試験実施の流れ

受験者は試験当日、指定時間（10:00）までにZoomソフトウェアの指定サイトにアクセスし、アップロードとダウンロードなどネット接続の最終確認を行いました。

筆記試験開始時間（10:30）までにZoomにて、試験官が本人確認を行った後に、本人の姿をモニターした状態でCBTソリューションズ社の指定サイトにアクセスし、問題をダウンロードした後に解答を開始しました。10:40以降は、試験問題ダウンロードは不可としました。試験解答中は、試験官がZoomによるモニターを行いました。（画像のみ。音声なし。）

11:30 に解答を終了させ、解答データを CBT ソリューションズ社の指定サイトにアップロードさせ筆記試験完了となりました。

(3) 面接試験、グループワーク

1名の受験者に対し、3名の試験官（1名は試験本部、2名は Zoom にて自宅から参加）を配置しました。3名の試験官は同じ Zoom にてログインしました。Zoom のアカウントとして、10 アカウントを用意しました。面接試験用に 6 アカウント、グループワーク用に 4 アカウントを使用しました。

試験官の本部へのログインは 12:30 までに済ませ、音声と画像の通信状況に支障がないことを予め確認し、当日の手順の打合せを行いました。評価用紙は、エクセルファイルを事前に試験官に送付し、全採点後は試験本部に送付してもらいました。

(4) 試験の実施体制

試験当日の実施体制は、表 2 のとおりです。面接試験又はグループワークを担当した試験官は基本的に自宅もしくはオフィスからの参加を推奨し、本部事務局に詰める人数は最小限となるようにしました。

表 2 実施体制について () 内はリモート参加で再掲

	時間	体制	計
筆記試験	1 時間	試験監督 10 名	10 名
面接試験	10 分×10～11 名	6 会場×3 名 (2 名)	18 名 (12 名)
グループワーク	1 時間×8～9 名	4 会場×3 名 (2 名)	12 名 (8 名)
採点者・入力者		3 名・1 名	4 名
計			延 44 名 (20 名) 実 34 名 (20 名)

(5) Web 形式で実施したことで見えてきた課題

- ・ 登録したメールアドレスが職場だったので、1名が 10 時の試験実施説明に間に合いませんでしたが、10 時 07 分に完了しました。
- ・ IBT 試験用の ID とパスワードが本人に届くのに時間がかかり、予定の 10 時 30 分に開始が間に合わず、ほとんどの受験者が 10 時 40 分頃に筆記試験を開始しました。
- ・ 事前に登録していたメールアドレスと当日使用するメールアドレスが異なっている場合があります。
- ・ 一番遅い受験者は 11 時 15 分に試験を開始し、それぞれスタートから 60 分間で自動的に筆記試験が終了しました。10 名の試験官による監督の結果、不正が疑われる事例は認められませんでした。
- ・ 面接試験とグループワークは、受験者の入室が遅れる事例がありましたが、大きな時間のずれは認められませんでした。
- ・ 安定的な通信環境を保つため、十分な余裕をもって事前にスペック（職場ではなく自宅のパソコンを推奨する、カメラの動作確認など）を周知しておくことが必要と思われました。また、そのために、今回受験開始が遅れた受験者に連絡し、検証することが必要と思われました。

- ・面接官に事前の資料が届いていないケースがあったので、確認を十分にとることが必要と思われました。
- ・受験者に対するプレテストを充実させる必要があると思われました。
- ・本部を設置し、ディレクション機能を一箇所にしたことで、全体的な連絡指示は円滑に行うことができたと思います。
- ・筆記試験を zoom でモニターしましたが、受験生の受験態度の監視にはある程度有用と思われました。しかしながらカンニングなど不正を完全には把握できないので、今後の課題と思われました。今回の試験では不正と思われるような事例は見られませんでした。

社会医学系の人材育成について

社会医学系専門医協会業務執行理事
和田 裕雄

社会医学領域の諸活動は、人々の世代を超えた健康確保、ひいては持続可能な社会の構築の実現に向けて重要な役割を担っています。しかし、日本における社会医学領域を専門とする医師の割合は、2016年3月の医師調査によると全体のわずか1.2%にすぎず、医師の確保と育成は喫緊の課題となっています。

本課題の解決に向けて、厚生労働科学研究費班会議「公衆衛生等の社会医学系分野で活躍する医師の育成・確保に向けた研究」にて、医師確保に向けて社会医学領域の各学会・団体が活用できる仕組みを構築するための取り組みを行っています。

本シンポジウム「いま、社会医学系医師を考える」では、本班会議の活動内容を紹介するとともに、社会医学系専門医の目指す将来像や在り方を提示したいと考えています。

本シンポジウムの概要は以下の通りです。ぜひご参加下さい。

◆構成

各シンポジストの発表および指定発言の後に、30分程度のディスカッションタイムを予定しています。

◆開催日時

2020年10月21日（水）13:00-14:30

◆登壇者

座長：

磯 博康先生（大阪大学大学院医学系研究科）

今中 雄一先生（京都大学大学院医学研究科）

シンポジスト：

佐々木 昌弘先生（厚生労働省大臣官房厚生科学課）

『社会医学系医師に期待され、求められるもの』

内田 勝彦先生（大分県東部保健所）

『保健所の仕事（新型コロナウイルス対策含む）と期待される医師像』

宮園 将哉先生（大阪府健康医療部）

『公衆衛生・衛生行政医師の確保と育成に関する調査と実践事業の成果と今後の方向性』

玉腰 暁子先生（北海道大学大学院医学研究院公衆衛生学）

『大学の立場から「学部・大学院の社会医学系医師の育成」』

和田 裕雄（順天堂大学大学院医学研究科）

『公衆衛生等の社会医学系分野で活躍する医師の育成・確保に向けて』

指定発言：

宇田 英典先生（地域医療振興協会地域医療研究所ヘルスプロモーション研究センター）

『社会医学系専門医への期待』

◆備考

下記の間でも関連発表を行います。こちらでも、Q&A タイムを予定しています。

日時： 10/20(火) 18:10～19:05

指導医講習会：「社会医学系専攻医・専門医・指導医のつどい」

本シンポジウムにて頂いたご意見を、本班会議の今後の活動や提示する社会医学系専門医の目指す将来像へ反映し、より効果的な取り組みにしていきたいと考えています。本シンポジウムおよび本班会議が社会医学領域の発展に貢献できるよう尽力してまいります。今後ともご指導ご鞭撻いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

学術総会のご案内

第79回日本公衆衛生学会総会



開催年月日： 2020年10月20日(火)、21日(水)、22日(木)

会期3日間、以下プログラムを「ライブ配信」、「定刻配信」、「オンデマンド配信」にて行います。

※会期終了後、多くのセッションのアーカイブ閲覧を予定しております。

閲覧可能期間は、2020年11月30日までの予定です。

テーマ： 「健康・医療・介護の未来づくり：Social Joint Venture (社会的協働)」

学会長： 今中 雄一 京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野 教授
 京都大学 超高齢 社会デザイン価値創造ユニット ユニット長

会場： オンライン開催となりました。

事務連絡先： 事務局（実行委員会事務局、学術部会事務局）

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野 内

運営事務局 株式会社コンベンションリンケージ内

〒604-8162 京都市中京区烏丸通六角下ル七観音町 634

TEL:075-231-6357 FAX:075-231-6354 E-mail:jsph79@c-linkage.co.jp

開催案内 URL：<http://jsph2020.umin.jp/index.html>

第40回医療情報学連合大会・第21回日本医療情報学会学術大会


第40回医療情報学連合大会
 第21回日本医療情報学会学術大会

医療をはかる ～規・測・図・諮・謀・慮～

会期 2020年11月18日(水)～22日(日)
 会場 アクトシティ浜松
 大会長 木村 通男
 (浜松医科大学医学部附属病院 医療情報部)

プログラム委員長 今井 健 (東京大学大学院医学系研究科疾患生命工学センター)
 実行委員長 渡辺 浩 (国立長寿医療センター 治験臨床研究推進センター 医療情報室)
 編集・技術委員長 作佐部 太也 (藤田医科大学 医療科学部 臨床工学科)

開催年月日：2020年11月18日(水)～22日(日) ※18日午後はチュートリアル

第40回医療情報学連合大会は、ハイブリッド方式(現地開催+LIVE Web配信)で開催します。是非、多くの方々のご参加をお待ち申し上げます。

テーマ： 医療をはかる ～規・測・図・諮・謀・慮～

代表者： 大会長 木村 通男 (浜松医科大学医学部附属病院 医療情報部)
 プログラム委員長 今井 健 (東京大学大学院医学系研究科疾患生命工学センター)
 実行委員長 渡辺 浩 (国立長寿医療センター 治験臨床研究推進センター 医療情報室)
 編集・技術委員長 作佐部 太也 (藤田医科大学 医療科学部 臨床工学科)

会場：アクトシティ浜松 (静岡県)

事務局連絡先：大会事務局 浜松医科大学医学部附属病院 医療情報部
 〒431-3192 静岡県浜松市東区半田山 1-20-1
 E-mail: jcmi-contact@mi.hama-med.ac.jp

運営事務局 株式会社ケイ・メッド 担当：小林
 〒121-0823 東京都足立区伊興 1-2-8
 TEL: 03-6803-1522 FAX: 03-6803-1534
 E-mail: kobayashi@keimed.co.jp

開催 URL: <https://jcmi40.org/index.html>

第 68 回 日本職業・災害医学会学術大会

Home	
会長ご挨拶	
開催概要	
役員・委員	
プログラム	
演題募集	
座長・演者の皆様へ	
各種単位認定	
参加者へのご案内	
会場へのアクセス	
宿泊案内	
各種協賛申込	
リンク	

開催年月日：2020年12月5日（土）・6日（日）

※誌上開催（抄録発行のみ）となりました。

テーマ： 「看脚下 —職業災害医学を足元から見直す— —新型コロナウイルス感染対策—」

 ※《看脚下》とは仏教（禅宗）の言葉で、「自分の足元を見る」、
 「自分自身の原点に還る」という意味です。

代表者： 会長 鈴木 茂彦（浜松ろうさい病院 院長）

 事務局連絡先：大会事務局 独立行政法人労働者健康安全機構 浜松ろうさい病院
 〒430-8525 静岡県浜松市東区将監町 25 TEL：053-462-1211 FAX：053-465-4380

E-mail: jsomt68@hamamatsuh.johas.go.jp

運営事務局 日本コンベンションサービス株式会社 中部支社内

〒460-0008 名古屋市中区栄 2-10-19 名古屋商工会議所ビル 6 階

TEL：052-218-5822 FAX：052-218-5823 E-mail: jsomt68@convention.co.jp

 開催案内 URL：<https://site2.convention.co.jp/jsomt68/index.html>

専門医・指導医の資格更新のご案内

専門医・指導医認定委員会 委員長 前田 光哉（神奈川県）
 社会医学系専門医協会事務局

2017年度に専門医、指導医に認定された方の認定期限（2022年3月末）が迫っております。資格更新に向けて、今後の予定・留意点をお知らせいたします。

対象：

2017年度に認定された専門医・指導医の皆様

※対象者は認定番号が「17-*****」となっております。

また、専攻医の方は更新の手続きは不要です。

今後の予定：

2021年6月頃に受付を開始予定です。

更新の詳細の案内を2021年3月頃に学会ホームページ・メールマガジン等でお知らせする予定です。

更新手続きに向けてのご案内：

① 更新手続き各種書類について

以下の書類、手引きを下記URLに掲載しております。

- ・社会医学系専門医・指導医の更新について(手引き)
- ・更新申請書類（第1号様式）：専門医（指導医）認定更新申請書
- ・更新申請書類（第2号様式）：勤務実績の自己申告
- ・更新申請書類（第3号様式）：社会医学系分野での活動実績の申告（5年間）

URL：<http://shakai-senmon-i.umin.jp/news/1699/>

② K単位(10単位)の考え方について

・K単位 10単位の必須受講項目のうち、医療倫理・感染対策・医療安全を各1単位以上ご受講ください。

・必須受講項目の医療倫理・感染対策・医療安全は、日本専門医機構が認定している共通講習は、本協会においても同等のものとして取り扱い、K単位としてカウントされます。

受講においてはeラーニングや大学などでの施設内講習なども認めます。更新申請の際には、受講証明書または受講を確認できるもの（参加証明書の画面のコピーなど）を貼付しご提出ください。

- ・指導医をお持ちの方は、構成学会・団体主催の「指導医講習会」を2回以上ご受講ください。
- ・学会総会時に開催される指導医講習会は、1単位相当としてカウントされます。
- ・日本医師会認定産業医の生涯研修の認定単位については、有効期間内の取得単位を上限3単位までK単位として認めます。ただし、認定産業医の更新とK単位との同時申請は認められません。

・日本公衆衛生学会での認定専門家研修会及び認定専門医地方公衆衛生学会については、K単位として認定されます。

③ G単位(10単位)の考え方について

・G単位取得には、協会の構成学会の年次総会や構成団体の研究協議会等への3回以上の参加、うち鍵となる協会構成学会の年次総会への2回以上の参加が必要となります。学会総会等の受講証明書(コピー可)を申請書類に貼付のうえご提出ください。

・G単位に認定される実績・取得単位数につきましては下記URLの別表①をご参照ください。

<http://shakai-senmon-i.umin.jp/QA/>

・G単位となる学術総会時に同時開催されるシンポジウム等については、K単位として同時取得可能です。また、同時取得可能数は総会と地方会で下記の通り異なります。

(総会)

共通講習 3単位まで

選択受講項目 3単位まで

指導医講習会 1単位まで

(地方会)

共通講習 1単位まで

選択受講項目 1単位まで

指導医講習会 1単位まで

・G単位等の基準は1年のみでは物理的にクリアできないため、計画的なG単位の取得をお勧めいたします。

④ 更新期間の延長、活動休止の届出について

・海外留学、海外勤務など、特別な事由がある場合は、更新期間の延長の届出をしてください。また、更新期間の延長は1年単位で行ってください。なお、上限は3年までです。

COVID19の影響により、社会医学系分野に関連する学会年次総会や団体の研究協議会(G単位)、社会医学系分野に関連する講習会(K単位)、指導医講習会が中止または延期となり、5年間での更新が困難と想定される場合は、更新期間の延長の届出をしてください。

更新延長の場合は、年間登録料はお支払いいただきます。

・育児休暇・介護休暇・病気休暇など、特別な事由がある場合は、活動休止の届出をしてください。また、活動休止は1年単位で行ってください。なお、上限は3年までです。

活動休止の場合は、年間登録料は免除となります。活動はカウントされず専門医・指導医のリストから一旦外れます。

・更新延長、活動休止届は下記URLより書式をダウンロードできます。

<http://shakai-senmon-i.umin.jp/news/1231/>

・休止期間中のEラーニングの受講は単位が認められません。

事務局からのお知らせ

☆年間登録料請求書、協会からのメールマガジンは届いておりますでしょうか？☆

所属先のご異動・お住いのお引越し・メールアドレスの変更等がございましたら、社会医学系専門医協会事務局まで登録内容変更届をご提出ください。

【登録事項変更届のダウンロードは下記 URL から】

<http://shakai-senmon-i.umin.jp/news/1231/>

【ご提出先】

社会医学系専門医協会 事務局

E-mail : jbphsm@asas-mail.jp

FAX : 03-5981-6012

※年間登録料請求書の再発行をご希望の際は、あわせてご依頼ください。